

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道312号宮津野田川道路 <small>みやづの다가わどうろ</small>	事業区分	一般国道	事業主体	京都府
起終点	自：京都府宮津市今福 至：京都府宮津市須津 <small>みやづ いまぶく みやづ すづ</small>	延長	6.4 km		
<p><b>事業概要</b> 鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取市から豊岡市を経て宮津市に至る延長約120kmの地域高規格道路であり、鳥取県東部地域、兵庫県但馬地域及び京都府北部地域の交流・連携の強化を図り、高規格幹線道路「中国横断自動車道姫路鳥取線」、「北近畿豊岡自動車道」及び「京都縦貫自動車道」等と接続し、広域的なネットワークを形成する路線である。</p> <p>一般国道312号宮津野田川道路は、このうち、宮津～野田川間の整備を行うものであり、京都府北部地域と、京阪神地域や日本海沿岸地域との交流を促進するとともに、地域の連携を強化する延長6.4kmの道路である。</p>					
H6年度事業化		H11年度都市計画決定 (H年度変更)		H8年度用地着手	
				H10年度工事着手	
全体事業費		約345億円		事業進捗率	38%
計画交通量		供用済延長 -			
		12,600台/日			
費用対効果 分析結果	B/C	総費用 (事業全体)		総便益 (事業全体)	
	(事業全体)	202/344億円		1,113/1,113億円	
	3.2	(事業費：174/316億円)		(走行時間短縮便益：987/987億円)	
	(残事業)	維持管理費：28/28億円		走行費用減少便益：92/92億円	
	5.5			交通事故減少便益：34/34億円	
<p><b>事業の効果等</b> 国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路の位置づけあり） 個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） の2項目</p>					
<p><b>関係する地方公共団体等の意見</b> 平成5年2月に「丹後・地域高規格道路推進協議会」（丹後2市10町で構成）が設立され、活発な要望活動が実施されている。</p>					
<p><b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 宮津与謝地域及び丹後6町の観光入込客数が平成7年から平成12年の5年間で約115万人増加し、年間650万人が訪れている。</p>					
<p><b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地の進捗率は99.9%であり、工事の進捗率は約24%である。（平成15年度末見込み）</p>					
<p><b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 今年度内に全ての橋梁下部工及びトンネルの発注が完了する見込みである。</p>					
<p><b>施設の構造や工法の変更等</b> トンネル断面の縮小や避難坑の掘削にTBM工法を採用する等コスト縮減を図っている。</p>					
対応方針		事業継続			
<p><b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。</p>					
<p><b>事業概要図</b></p>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。